

新しい救急救命処置と実証研究

ニュースレター

平成24年度厚生労働科学研究費補助金 「救急救命士の処置範囲に係る研究」 研究班事務局 発行

登録状況

<新規>

8月末×日

～9月中旬×日

低血糖	146件
重症喘息	12件
ショック	401件

合計 559件

<累計>

7月1日

～9月中旬×日

低血糖	309件
重症喘息	30件
ショック	840件

合計 1,179件

※数値は一次集計値であり、修正される可能性があります。

新しい処置の実施に際しては、くれぐれも無理をせずに、傷病者の安全第一でのご対応をお願いします。

➤ 9月から、全参加 MC 地域が非介入期間に入っています！

9月前半までに、新たに10MC協議会（34消防本部）で、非介入期間が開始されました。これにより、全国で登録頂きました39MC協議会（129消防本部）全てで非介入期間が開始されました。

これらの地域から、8月末から9月中旬までに三処置合計で新たに559件の登録がありました。（累計1,179件（低血糖309件、重症喘息30件、ショック840件））ご協力いただいたMC協議会の皆様、どうもありがとうございました。引きつづき宜しくお願いします。

- ・血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与
最多登録MC協議会（神戸市MC協議会） 12件
- ・重症喘息に対する吸入β刺激薬の使用
最多登録MC協議会（石川県MC・神戸市MC協議会） 各2件
- ・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液
最多登録MC協議会（石川県MC協議会） 34件

➤ 10月からは、いよいよ 介入期間 が開始されます！

10月1日より、5MC協議会を皮切りに、いよいよ介入期間が開始されます。改めて、処置の適応、その手順、軽微なものも含めた有害事象が発生した場合の対応などについて各MC協議会、消防本部、救急救命士、MC医師ごとに御確認をお願いします。併せて、各MC協議会の事務局の皆様には、万が一、重大な有害事象が発生した場合の、各MC協議会から研究班への緊急連絡の方法についても御確認ください。処置の実施に際しては、くれぐれも無理をせずに、傷病者の安全第一でのご対応をお願いします。

この介入期間中に、一人でも多くの傷病者の救命や後遺症の低減がなされることを祈るとともに、有害事象が最小限に収まることを祈っています。

<10月1日から介入期間が開始予定> 5MC協議会（10消防本部）

- ・秋田県MC協議会秋田周辺地区協議会（秋田市消防本部）
- ・土浦地区MC協議会（土浦市消防本部、かすみがうら市消防本部、石岡市消防本部、小美玉市消防本部）
- ・中越地域MC協議会（十日町地域消防本部、南魚沼市消防本部）
- ・津・久居地区MC協議会（津市消防本部）
- ・上伊那地区MC協議会（伊那消防組合消防本部、伊南行政組合消防本部）
- ・岐阜県東濃地域MC協議会（多治見市消防本部、土岐市消防本部、瑞浪市消防本部、恵那市消防本部、中津川消防本部）
- ・尾張東部地区MC協議会（瀬戸市消防本部、尾張旭市消防本部、豊明市消防本部、長久手市消防本部、尾三消防本部）

（※事前調査による予定に基づいており、実際の開始日とは異なる可能性があります。介入期間等の変更のあったMC協議会は、研究班事務局にご連絡頂けますよう、宜しくお願い致します。）

お願い

～正確な登録を～

登録件数の増加に伴って、登録データ項目の確認作業が大きくなってきています。データの記入漏れ、不適切な記入について、各 MC 協議会で段階で御確認、修正いただきますようお願いいたします。

～ニュースレターの供覧を～

参加されている全ての救急救命士の方、教育・研修に携わった消防学校などの方に、このニュースレターをご供覧いただけるように、各 MC 協議会、各消防本部のご担当者様には、ご配慮いただきますようお願いいたします。

～地域の情報を待ってます～

本ニュースレターへのご意見、ご要望は、研究班事務局にお願いします。

参加 MC の皆様からの記事のご投稿もお待ちしています。

fujita_kyukyuka_hisyo@yahoo.co.jp

➤ 介入期間にむけた準備の状況について（参考：ある MC 協議会の状況）

ある東海地区の 1 MC 協議会より、介入期間にむけた準備の状況について、お伝えいただきました。参考までにお伝えします。

当地区の実証研究ですが、いよいよ 10 月からの介入試験の開始を前にブドウ糖注射液の入手と配備を終えました。

講習会は 5 月下旬に開始し 6 月末に終了しており、約 3 カ月のブランクがあり、救急救命士のみならず指導医師も細部について理解と記憶が少々不確かになっているのではと少し懸念しています。

そのため、講習会で指導的立場であった救急救命士を中心に、消防本部単位で復習するよう強く促しています。あわせて、指導医師にとっても、今一度おさらいが必要と感じているところです。

➤ 非介入期間の登録の状況について（参考：ある MC 協議会の状況）

ある関東地区の 1 MC 協議会より、非介入期間の一ヶ月に登録された傷病者の状況の概要をいただきました。参考までにお伝えします。

（※ 1 MC 協議会の 1 ヶ月間のデータですので、非介入期間に登録された全体の登録状況とは異なります。データは一次集計であり、今後修正される可能性があります。）

＜血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与＞ 登録総数 8

- ・年齢 平均 73 歳（57～89）・男性（5/8）
- ・代諾者の同伴有り 6/8
- ・搬送先医療機関での血糖測定結果 BS<50 7/8 ・入院有り 1/8

＜心肺機能停止前の静脈路確保と輸液＞ 登録総数 26

- ・年齢 平均 68 歳（32～90）・男性（15/26）
- ・本人から同意取得可能か、代諾者の同伴有り 19/26
- ・搬送先医療機関の判断
脱水 7、出血 6、心原性 4、敗血症 2
ショックでない 1
判別困難 1、回答待ち・回答なし 5
- ・入院 15、帰宅 4、死亡 3、回答待ち 4

全体の登録状況	非介入期間	7月前半	7月後半	8月前半	8月後半	9月前半	累計
	低血糖	9	12	64	78	146	309
	重症喘息	1	2	6	9	12	30
	ショック	33	39	163	204	401	840
	合計	43	53	233	291	559	1,179

※締め日の都合上、月の前半後半の境日は必ずしも 15/16 日、末日/1 日とはなっていません。